

風土記の丘の花だより¹²⁷

今、そしてこれから見られる植物(2022年3月26日)

ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヤマザクラが一気に咲き始めました。いよいよ春になりましたね。花だよりに何を載せようか迷う季節になりました。ハクモクレンとコブシはここに載せて、皆さんがご覧になる頃にはすでに色あせていることが多いので毎年紹介できていませんが、もう皆さんご覧になりましたね。



柳川家の北側の道沿いでボケの花がきれいに咲いています。いろいろな品種がありますが、ここのボケは少しオレンジ色がかかっています。園芸品種が多いので、これにも何か品種名があるのでしょうか。漢字で「木瓜」と書きますが、花の後にできる大きな実をウリにみたてたのでしょうか？中国原産のバラ科の植物で、古く平安時代に渡来したといわれています。



白いユキヤナギが名前のおり雪のような白さで咲いています。小さな花ですが、一つひとつの花の花びらは5まいです。この木もバラ科です。冬のうちは細い枝だけになりほとんど目立ちませんが、春に一気に花が咲くので何となく嬉しい気持ちになりますね。多くは庭木や公園木として植えられていますが、郊外を歩いているとたまに自生しているのを見かけることもあります。



早春を代表する草花の一つシュンランが咲きました。これは万葉植物園で撮影したのですが、園路沿いでも見ることができます。野生ランはシャレではありませんが、不届きな人による乱獲が多くどれも激減しています。でもこのランはまだ身近な所に生き残ってくれています。



今年も忘れずにヒトリシズカが花を咲かせてくれました。万葉植物園の中ほどの右側(西側)の囲いの中に植えられています。小さな花ですが、清楚で上品な感じがします。(松下の勝手な感想です)これから次々に春の花が咲き始めます。皆さんも散歩しながら、春の花をいっぱい探してください。 松下